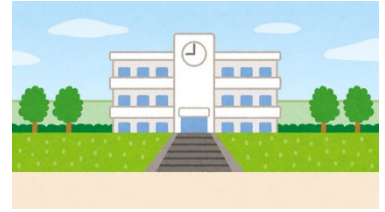


羅針盤

情報漏えい事故は 学校内？ 学校外！？



“情報漏えい事故”と聞くと、多くの人が学校外での事故をイメージされると思います。しかし、実際には学校内においても多くの情報漏えい事故が発生していることが、右の図1から分かります。(平成 27 年度に国内の学校園・教育機関で発生した情報漏えい事故 159 件のうち、学校内で発生した事故の割合は 40.9%)

学校外に USB フラッシュメモリ等を持ち出す場合には、持ち出し申請書の提出や利用簿への記載、暗号化やパスワードの設定といったルールの運用によって、情報セキュリティに対する利用者の意識は自ずと高くなります。しかし、学校内において個人情報を取り扱う場合には、どうでしょうか？

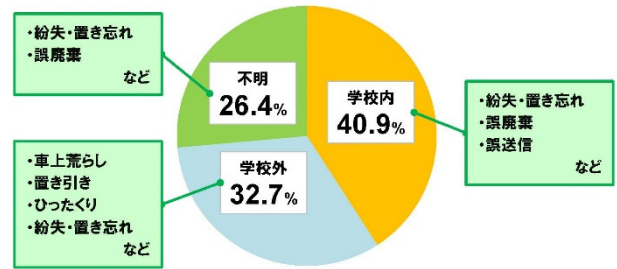


図1

学校外への持ち出しに関するルールはあるが、学校内での利用に関しては明文化されたルールがないという学校もあるのではないのでしょうか。

- ・職員室のパソコンにUSBフラッシュメモリを挿したままにしていたら、いつの間にか見当たらなくなった
- ・成績を記録した手帳を教室に置き忘れたことに気づき、取りに戻ったが既になくなっていた

これらは実際にあった情報漏えい事故の一例ですが、学校内で日常の業務を行う際にも情報漏えいの危険性は数多く存在します。学校外に情報を持ち出すときだけ気を付ければ良い、という認識は改めましょう。

学校内、学校外、どちらも対策が必要です！

<参考>平成 27 年度 成績情報が含まれていた事故の発生比率

◆ 情報漏えい事故の約40%が、成績情報を含むものでした。

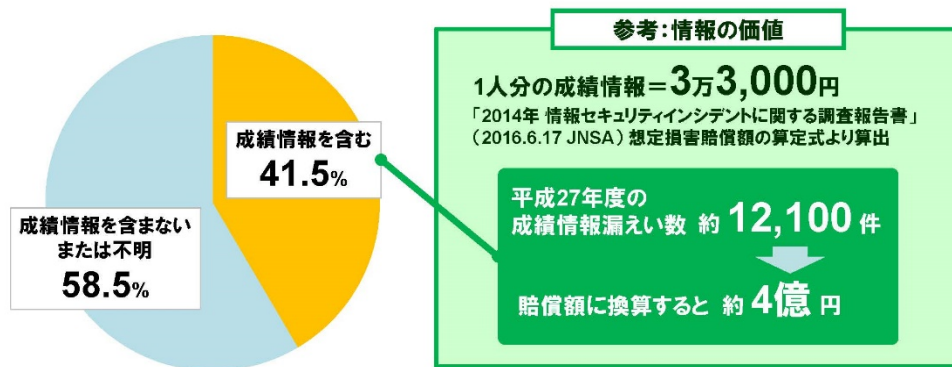


図2

成績情報は児童生徒や保護者にとって、とても大事な意味を持つものです。それだけに情報漏えいが起こった場合に与える影響は計りしれません。取扱いに当たっては、細心の注意を払うようにしましょう。

※ 図1・図2 「平成27年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況 - 調査報告書 -第1版」ISEN より引用

次回は7月29日(金)の発行予定です。(担当・情報教育部)

【バックナンバー】 <http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/sougou/koho/>